自由課題（予告）

2015 年 4 月 17 日

「モデル化と OR」の講義では、７月に最終課題としてそれまでの授業で学んできたことを実地に応用してもらいます。最大３人までのグループを組み、身の回りの問題を発見し、それを適切にモデル化した上で何らかの解決策を見つけ、最後にプレゼンテーションを行います。与えられた課題をこなすのと違い、自ら問題点を見つけ、それを解決することは容易ではありませんが、それは社会で求められている能力でもあります。この課題を通じて、「問題発見力」と「問題解決力」を身に付けることが目標です。優秀なグループには、来年３月に行う「５大学交流授業」でも発表をしてもらう予定です。会場の隣では OR 学会も開催されています。

実際に手を動かして作業を始めるのは６月後半からで結構ですが、自由課題のテーマは今のうちから探しておいて下さい。

注意点：

- （広い意味で）OR 的な手法を使えば何をやってもらっても構いません。AMPL を使って最適化をする、マルコフ連鎖や待ち行列理論を応用する、シミュレーションをする、など色々考えられます。オペレーションズ・リサーチの講義で勉強した AHP や DEA でも構いません。

- 数理モデルが先にあってそれに合う現実問題を探すのでなく、先に現実問題があってそれをモデル化することを目指してください。その方が面白い自由課題になりますし、モデル化の苦労も体験できます。自分達でしか出来ないオリジナルな作品を期待しています。

- 自由課題の評価のポイントは次の３点です。
  - 実用性、あるいはテーマの斬新さ　　３０％
  - モデル化の妥当性や行なった工夫　　４０％
  - プレゼンテーション　　３０％